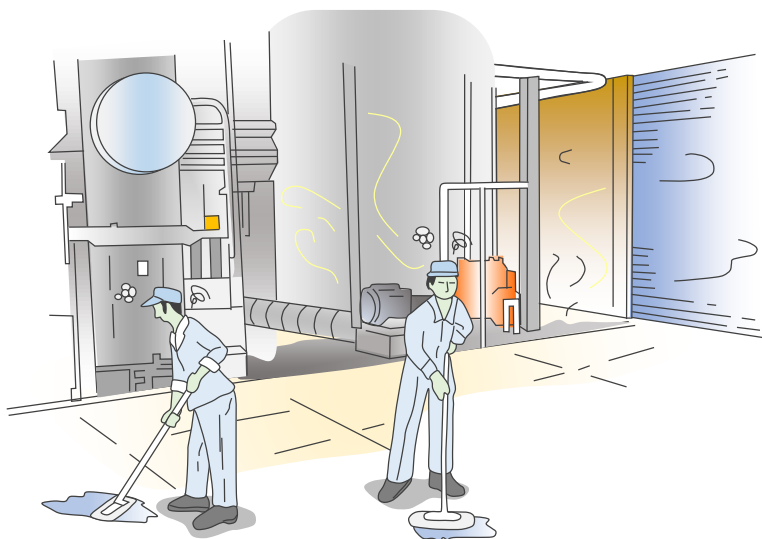


製紙工場内の排水溝を流れていた排水から気化した二酸化塩素ガスを吸引した



【発生場所】

製紙工場のパルプ製造工程における、パルプ液収納タンク周辺

【被災原因】

パルプ液収納タンク上部から1～3階の床に噴出したパルプ液を清掃作業中に、漂白工程で排出された排水から二酸化塩素が気化し、被災した。

【被災状況】

体調の異常を感じた作業者が、呼吸困難を訴えたため酸素吸入を行った。

回復しないため、病院で診察を受けたところ、二酸化塩素による縦隔気腫と診断され、入院治療を受けた。

【対策】からの抜粋

- 2 ガスの漏洩場所を的確に検知し、速やかに退避できる警報設備を設けること。
- 3 二酸化塩素が関与するプロセスの作業マニュアルの作成、ガスの漏洩など異常時における措置および退避などのマニュアルを作成すること。
- 4 二酸化塩素に暴露される作業に従事する作業員に対しては、送気マスクまたは空気呼吸器などの適切な保護具を着用させること。



～理研計器からのご提案～

リスクアセスメントを実施し、ガスの発生が予見される環境や作業がある場合、リスク低減措置に加え、ガス検知警報器で安全確認をしながら作業されることを、お勧めいたします。